

CNAレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 16 No.5 2014年3月15日号

問い合わせ：cnar@cnar.jp ホームページ：<http://cnar.jp>

Copyright 2014 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

■ZTE ジャパン、テレビ会議システムを日本で発売開始

ZTE ジャパン株式会社(東京都港区、ネットワーク事業部門)は、1080p に対応したテレビ会議システムの日本で発売を3月3日より開始した。(3月5日)

今回日本で発売する ZTE ジャパンのテレビ会議システムは、中小会議室から大規模会議室向けの端末のほか、多地点接続装置、デスクトップ/タブレット向けテレビ会議クライアント。低帯域で高画質なテレビ会議を安価に実現するところが特長。また初めてテレビ会議システムを使うユーザにとっても、ユーザインターフェイスは直感的で、セットアップも簡単という。フル HD や H.264 ハイプロファイルに対応している。



「T700 シリーズ」(写真左:ZTE ジャパン資料)は、中小規模の会議に最適なテレビ会議システム端末製品で、HD カメラ

を内蔵し非常にコンパクトなデザインになっている。「MCUを内蔵しているモデル」と「内蔵していないモデル」がある。

「T800 シリーズ」

(写真左:ZTE ジャパン資料)は、大規模会議向けのテレビ会議システム端末。「MCU を内蔵しているモデル」と「内蔵していないモデル」がある。T800 シリーズの HD カメ



ラは本体とは分離したタイプになっている。

「M900」は、

(写真左:ZTE ジャパン資料) 複数拠点での会議を可能にする多地点接



続装置(MCU)。H.323/SIP に対応するとともに、Web サーバ、ゲートキーパー、SIP registrar 機能などを内蔵している統合型の製品。加えて、テレビ会議時の議長の会議制御機能など会議を管理する機能も含んでいる。

「T100 シリーズ」は、Windows と iOS に対応した、WindowsPC および iPad から既存のテレビ会議システムをシームレスに接続できるソリューション。モバイル端末をテレビ会議端末として利用することが可能になる。

■ポリコム、Microsoft Lync 専用 360 度パノラマ映像などができる「Polycom CX5100 ユニファイドカンファレンスステーション」の提供を開始

ポリコムジャパン株式会社(東京都千代田区)は、「Microsoft Lync 2013」に最適化されたビデオ会議システム「Polycom CX5100 ユニファイドカンファレンスステーション」を日本向け市場に提供開始する。(3月4日)



Polycom CX5100 ユニファイドカンファレンスステーション (写真左:ポリコムジャパン 資料)は、Microsoft Lync クライアントソフトがインスト

ールされたパソコンの USB ポートに接続(プラグアンドプレイ)

また、Toiss 社を通じ、最初の導入企業として韓国の大手製薬企業 Hanmi Pharmaceutical 社に、Web 会議サービス「V-CUBE ミーティング」と中国とのサービス利用を快適にする「China FastLine」を提供する。同社のアジアにおけるコミュニケーションインフラに活用される。

ブイキューブによると、韓国では、業務の効率化やコストダウンを実現するクラウドやビジュアルコミュニケーションサービスへの注目が高まっていることと、海外進出を積極的に行う企業が増えているという。今回の Hanmi Pharmaceutical 社への導入を契機に、販売パートナーである Toiss 社との連携を強化し、海外での事業展開を加速する韓国企業への販売促進を実現していくとしている。

ブイキューブは、海外での事業展開を成長戦略として掲げており、V-CUBE サービスの利用は、マレーシア、タイ、シンガポール、インドネシア、中国とアジアを中心に広がっているという。今後も海外への事業展開を積極的に推進していくとしている。

製品・サービス動向-海外

■フェニックス オーディオ テクノロジーズ社、 新型の IP カンファレンスフォンを発表

フェニックス オーディオ テクノロジーズ社 (Phoenix Audio Technologies、米カリフォルニア州) は、3月17日米国オーランドで開催される EnterpriseConnect カンファレンスで、同社の新型 IP カンファレンスフォン「Spider (スパイダー)」を披露すると発表。(Business Wire 日本語:3月11日)

Spider は、SIP ベースの IP カンファレンスフォン。USB インターフェイスでパソコンに接続し、IP 会議電話やスピーカーフォンとしても使用できる。直径7インチ(約18cm)の小型設計で、集音範囲は20フィート(約6m)を超える。加えて、フェニックス社独自の Link-Up/Link-Down バスを使用した14台のユニットをダイジーチェーン接続でつなぐことで、広い会議室にも対応する。

高性能 DSP を使用し、ノイズ低減、エコーキャンセラー、残響防止 (de-reverb)、方向検知によるビームフォーミングな

ど独自のアルゴリズムが強化されている。また、対話型タッチボタンパネルと大型 OLED ディスプレイを使用しており、直感的なユーザインターフェイスを提供している。さらには、筐体内蔵の LED で話者の発声方向を追跡するように機能強化されており、実行中のアルゴリズムを表示することもできるようになっている。その他、アナログ電話 (PSTN) インターフェイスも提供される。

(CNA レポート・ジャパン補足: 日本での発売については未確認。)

ビジネス動向-海外

■ClearOne 社、ワイヤレスマイクロフォンシステムの米 Sabine 社を買収

ClearOne 社 (米国・ユタ州) は、ワイヤレスマイクロフォンシステムの米 Sabine 社 (米国・フロリダ州) を買収との発表を行った。(3月5日)

買収にあたって、ClearOne 社は、750 万ドルを現金で支払い、150 万ドル分の ClearOne 社の株式を譲渡する。加えて、125 万ドルの負債を引き受けるとともに、今後 3 年間の業績に応じて報酬を支払う条項 (earn-out payments) も買収条件に盛り込んでいる。

Sabine 社は、2012 年以來、ClearOne ブランドのワイヤレスマイクロフォンシステムを供給してきた。関連する ClearOne 社製品には「CONVERGE Pro」や「INTERACT Pro」がある。機能や性能、価格の面で業界では定評がある。

ClearOne 社によると、買収により両社のリソースを統合することで、オーディオ & ビジュアルコラボレーションソリューションの開発を加速し、成長著しい市場におけるリーダーシップをさらに固める考えだ。

Sabine 社のオペレーションはこれまで通りフロリダ州 Alachua にて継続する。

セミナー・展示会情報

<国内>

■【“見える”カレッジ】 ブイキューブの Web 会議サービスが選ばれる理由～ 電子黒板やポリコムと連携して、学習効果アップ～

日時:3月20日(木)14:00～16:30

会場:ブイキューブ本社(東京都目黒区)

主催:株式会社ブイキューブ

詳細・申込:<https://vcube.smktg.jp/public/seminar/view/124>

■Polycom Day『ワークスタイルの変革 - 多様な働き方をポリコムが実現します』

日時:3月26日(水)15:30～16:30(受付:15:15)

会場:ポリコムジャパン セミナールーム

主催:ポリコムジャパン株式会社

詳細・申込:<http://www.polycom.co.jp/company/events.html>

■後悔しない Web 会議を選ぶために事前チェックすべき「6つのポイント」セミナー

日時:3月27日(木)15:30～17:00(受付:15:00)

会場:キヤノンソフトウェア本社(天王洲アイランド)

主催:キヤノンソフトウェア株式会社

詳細・申込:<https://reg.canon-soft.co.jp/public/seminar/view/164>

国内その他:<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他:<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

* イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNA Report Japan アーカイブ電子ブック版

>2003年-2013年 http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014年 http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作:カタログスクウェア株式会社
<http://www.catalog-square.co.jp>

CNA Report Japan 情報発信について

CNA レポート・ジャパン(橋本啓介)が行っている情報発信は、以下から行っています。

定期レポート(15日・月末発行):各社からのプレスリリース、橋本による直接取材による記事

Dtc-forum メーリングリスト、フェイスブック&Twitter(それぞれほぼ毎日配信):遠隔会議関連の国内外の情報。橋本がインターネットを通して収集したさまざまな情報(収集は毎日。方法は、検索、RSS、ポータルサイト、ブログ、メディア、youtube、プレスリリース、メルマガなど)。

遠隔会議について、プレスリリース以外のさまざまな情報を得たい場合は、dtc-forum やフェイスブック、Twitterをおすすめします。詳細は、<http://cnar.jp> をご覧ください。

配信している情報は、遠隔会議のトレンドを知る上で国内外を問わ

ず大事な動きであろうと思われるものを配信しております。ご自身の情報収集と合わせてご利用いただければと存じます。

編集後記

今号もお読みいただきありがとうございました。

先月のラスベガスでのLync Conference 2014を受けて、先週東京でLync Interact Japanが開催されました。会場の六本木のアカデミーヒルズでは満席の来場者に、Lyncの最新情報が提供され、18社のスポンサー展示が行われました。SkypeとLyncの統合や1000名の大規模会議、Android対応など、新たにマイクロソフトが打ち出した「ユニバーサルコミュニケーション」は今後の目指す方向性のようです。

定期レポート掲載記事以外で、個人的に興味深いと思っている最近の動きとしては、米ポリコム社の新イマーシブテレプレゼンスシステム、米シスコシステムズ社や台湾Aver社からのビデオ会議の新製品、Logitech社から発表された会議室向けのカメラ、BT社とドルビー社技術による高品質な音声会議などがあります。日本市場においても、追って発表されるかもしれません。

最近、「在宅勤務が会社を救う(テレワークマネジメント 代表取締役 田澤由利 著 東洋経済新報社)」を読みました。在宅勤務について企業からの一般的な疑問にひとつひとついねいに答えながら、導入方法や課題・注意点、さらには会社にとっての可能性など、実例なども織り交ぜながらわかりやすく解説しています。遠隔会議の利用方法についても書かれています。在宅勤務についてひとつとおり全体像を理解したい、あるいは、これから在宅勤務導入を検討したい企業向けの本ではないかと思えます。

次号もよろしくお願ひ致します。

CNAレポート・ジャパン 橋本啓介